

## 西原商事グループ デジタル技術を活用した新たなビジネスの創出について

お取引先の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
ここに当社の従来からのビジョンを基にしたデジタル技術構築体制の経緯概況と、  
これからの5年・10年後に向けた新たなビジネスの創出計画についてご報告申し上げます。

### ビジョン

リサイクル及び環境関連事業を通して、お客様（排出者）・取引業者・地域・社員などの  
ステークホルダーから、環境・経済・社会の三側面における自らの発展に対してパートナ  
ーシップを醸成する相手として期待される企業であること。

ガバナンス強化、サーキュラーエコノミー実現、カーボンニュートラル実装等、  
多様化する社会課題を持続可能なかたちにより解決するため、環境と経済のバランスを  
図り、企業と企業の壁を乗り越えて『非競争領域の最適化』の構築を実現させる企業にな  
ること。

### DX 推進体制構築の経緯

2007年	廃棄物情報管理業スタート/自社システムエンジニア雇用 廃棄物一元管理システム『bee-net system』自社開発
2010年	JWNET(電子マニフェストシステム)加入
2011年	『bee-net system』特許取得 (第4664437号)
2012年	経済産業省 IT実践企業認定
2015年	『bee-net system』追加機能(GPS・画像マニフェスト)特許取得(第5697741号)
2017年	『bee-net system』第2期改修
2020年	Zoom/Teams等 遠隔地コミュニケーションスタート 電子契約 導入 オンライン工場視察システム『beetle-EYE』開発着手
2021年	運行管理支援アプリケーション『Beetle Assist』開発スタート (北九州市DX補助金モデル事業)
2022年	AI契約審査プラットフォーム導入 北九州市DXプラットフォーム登録 セキュリティ強化、ITインフラ環境整備の為、社屋増築・改装 西日本DXフェア参加及びパネリストとして経営層登壇

## DX推進戦略

更なる顧客の確保とシステムやアプリケーションの外販による自社の利益を拡大するため廃棄物関連に特化したシステムやアプリの開発・運営を行う。

廃棄物業界全体のDXを牽引することを踏まえ、環境・経済・社会の三側面への働きかけを行う。

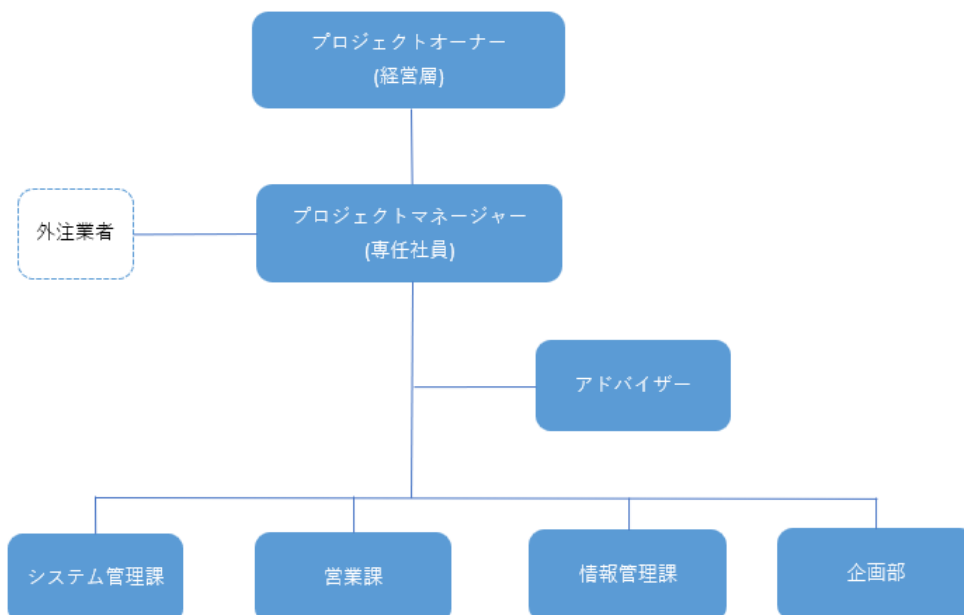
既存システムを、より効率的な運用へと転換し人手不足問題をカバーすると同時に、ステークホルダーが必要とする時代の潮流への適合と、効率的な経済行為を確保できる環境の整備を行う。

### 《DX推進実現への具体的な計画》

- ① グループ全体の情報資産及び蓄積データを調査・分析したうえで、基幹システムの改善を実施する。
- ② 業界のDX支援のため、自社が持つ全国規模のネットワークを活かし、廃棄物処理業者の成長を促進する新たなシステムを構築し、提供する。
- ③ カーボンニュートラル実現加速に向けて、シンボルになる事業を北九州で考案し実現する。
- ④ 既存社員に対し属人業務の解消を図り、廃棄物・資源循環の高度専門知識とDX・GX・SXに関連する知識習得のための人材育成をおこなう。
- ⑤ 変革に向け、DX推進経験のあるIT人材や、訴求力・発信力のあるデザインを制作できる人材を新規採用し、育成する。

計画実現を確実なものとするため、グループ会社・部署から横断的に人材を配置したプロジェクトチームの体制を整備する。

体制図



《DX 推進に伴う社員の行動指針》

経営者の示す DX 推進方針に対応し、変革へ向け適応するため以下の行動を徹底する。

- ・ 廃棄物業界での DX 推進企業の社員としての自覚を持ち、日常業務でのデジタル運用を習得する。
- ・ 属人業務からの脱却及び、他部署との重複作業等の見直しと解消を図り、専門知識や個人ごとのスキルアップに向けた知識の習得に注力するための時間を創出する。
- ・ 社内の DX(工場の AI ロボット、運行管理システム等)に向け、積極的に外部セミナーでの発信や展示会等で情報収集を行う。
- ・ 事業拡大及び 2024 年問題に伴う人材確保のため、また若者・女性に対し自社及び廃棄物処理業界への就業促進に向け、担当部署社員は人材採用のノウハウの習得と、採用活動を積極的に行う。

《変革に向けたデジタル技術の展開計画》

2023 年 4 月	自社デザイナー雇用/ UI デザイン推進計画
9 月	第 1 回学生環境ビジネスコンテスト開催/新規人材雇用計画
11 月	廃棄物処理 DX アプリ『DUSTTALK』の開発及び全国版リリース
2024 年 10 月	基幹システム『bee-net system』のリニューアル、リリース
2026 年 4 月	北九州エコタウンに廃プラ循環施設『プラリー工場』の開業

2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、西原商事グループは長年の知見を基にしたシステム開発・普及や、データ活用による改善提案を継続的におこなうことで、廃棄物処理・資源循環分野における安定化を図り、更なる成長と発展を遂げることをここに表明いたします。

2022 年 4 月 1 日  
株式会社西原商事ホールディングス  
代表取締役 西原 靖博